

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名			所管課			消防本部			担当班			総務課消防団班		
33800 消防庫整備事業			会計			項			目			事業種別		
基本施策 30 消防力の強化			一般			9			1			2		
施策の展開 59 非常備(消防団)消防体制の充実			根拠法令 消防組織法第18条第2項及び消防力の整備指針			戦略事業 262 消防庫の整備						☒ 主な事業		
施策の展開			戦略事業									☒ 国土強靱化地域計画		
												☐ 新市建設計画		
												☐ 定住自立圏構想		
												☒ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 年度～ 平成 年度まで	既存の消防庫の内、耐震性に難があり老朽化が顕著な消防庫から改築を進める。消防庫は地域防災において重要な役割を担う消防団の活動拠点となる。 消防庫の建設用地は地元で選定し、民有地の場合は地元区と地権者の間で賃借契約を結ぶ。 市は地元において用意された土地に消防庫を建築する。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
・消防団が設置された当時よりある。合併前(海上・飯岡・干潟)の消防庫は地元各区が主体となって消防庫を建てていた(自治体としての関与は補助金の交付)。消防団の活動拠点として市が建築することにより統一した消防庫が建築することができる。	・材料費や燃料価格の高騰、建設業界の人手不足等により、契約金額が年々増加している。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・地域防災の拠点として地元住民からの要望は高い。 ・建設用地の選定が難しい。候補地を見つけても無償貸与の契約を締結できない。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算) 単位:千円		単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1.設計・監理委託料	3,618	設計委託料(確認申請手数料含む)・監理委託料	2,993	1,782	2,592	3,618	378
2.工事費(消防庫改築)	60,002	28年度分 2棟、27年度繰越 2棟	35,282	11,230	31,862	60,002	16,892
3.工事費(解体・撤去)	2,087	未使用となった古い消防庫の解体撤去費用	1,829	410	1,026	2,087	2,144
4.上水道給水申込納付金	216	2件分	0	0	108	216	108
5.その他	0	手数料	0	0	60	0	0
② 特定財源の内訳(28年度の決算) 単位:千円		単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1.国庫支出金	0		40,104	13,422	35,648	65,923	19,522
2.都道府県支出金	8,980	消防防災施設強化事業補助金	5,166		2,657	8,980	2,245
3.地方債	51,700	消防施設整備事業債	31,300	12,300	31,200	51,700	15,000
4.その他	1,828	繰越金	1,719		1,828	1,828	2,277
			3,638	1,122	72	3,415	2,277

前年度増減理由	27年度繰越2棟分が含まれているため
---------	--------------------

従事職員数	常時	2人	最大	3人	×	40日	=	延べ	120人
-------	----	----	----	----	---	-----	---	----	------

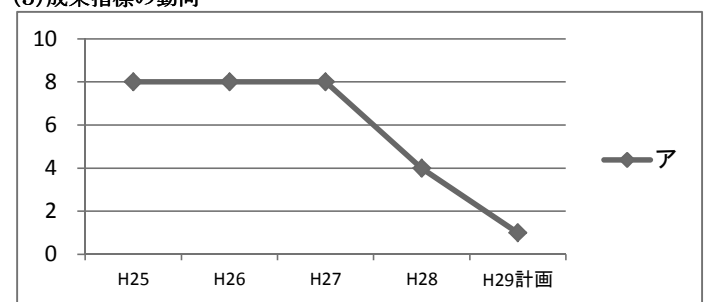
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・27年度繰越2棟完成(9月) 第2中隊第2分団第2部、第5中隊第1分団第1部 ・28年度分2棟完成(2月) 第1中隊第1分団第2部、第5中隊第1分団第2部 ・老朽化した消防庫3棟の解体、1棟は地元へ返却		ア 改築消防庫棟数	棟	2	1(繰越)	2(繰越)	4	1
			イ 解体・撤去消防庫棟数	棟	4	1	1	4	3
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
	対象 ・消防庫		ア 築30年以上経過し老朽化等に伴い 改築が必要とされる消防庫数	棟	8	8	8	4	1
	意図 計画的に更新を行なう。		イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3
大きい	②	①	中位 1/3
普通		②	上位 1/3
小さい		③	
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況 【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	☐完了 ☒順調 ☐概ね順調 ☐停滞 ☐実施困難												
	② 成果の状況 【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標ア 成果指標イ	成果指標 のタイプ	☒数値減＝成果向上	☒向上	☐横ばい	☐低下	成果 動向	比較	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29計画
				☐向上	☐横ばい	☐低下	ア		△2	0	0	△4	△3	
								イ						
	③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	☐拡大 ☐縮小 ☒現状維持 ☐廃止・休止 ☐見直し ☐その他()							
	平成30年3月	・消防庫1棟の完成 ・改築、班統合による老朽化し未使用の消防庫3棟の解体				計画的に改築していく								